

一般社団法人 尾道青年会議所

2022年度 第1回 理事予定者会議

守 破 離

～郷土の誇りを未来へ～



日時：2021年 9月 9日（木）19：00～

場所：オンライン

第1回 理事予定者会議

資料一覧

[議事次第]

1. 第1回 理事予定者会議

[理事長予定者報告]

[資料]

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1. 理事長予定者・実行委員長・副理事長予定者・専務理事予定者所信 | 1-1~7 |
| 2. 一般社団法人尾道青年会議所 2022年度 理事会構成図(案) | 2-1 |
| 3. 一般社団法人尾道青年会議所 2022年度 委員会構成図(案) | 3-1 |
| 3. 一般社団法人尾道青年会議所 2022年度 所管業務(案) | 4-1~2 |

一般社団法人 尾道青年会議所

2022年度 第1回 理事予定者会議

日時：2021年 9月 9日（木）

19：00～

場所：オンライン

次 第

1. 開 会
2. 点 鐘
3. JCIクリード唱和
4. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和
5. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
6. 出席者の確認
7. 配布資料の確認
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の氏名
9. 議題の確認
10. 理事長予定者挨拶
11. 直前理事長予定者挨拶
12. 理事長予定者報告
13. 審議事項
 - 第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2022年度 理事会構成図（案）に関する件
 - 第2号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2022年度 委員会構成図（案）に関する件
 - 第3号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2022年度 所管業務（案）に関する件
 - 第4号議案 2022年度 出向者に関する件
 - 第5号議案 その他
14. 協議事項
 - 第1号議案 その他
15. 報告依頼事項
16. 連絡事項
17. 監事予定者講評
18. 次回開催日の確認
19. 閉 会
20. 点 鐘

理事長予定者報告

- 8月27日(金) 第1回青副理事長予定者会議 於：事務局
9月9日(木) 第1回理事予定者会議 於：オンライン (ZOOM)

事務局連絡

- 9月12日(日) 広島ブロック大会 於：三次市内 (WEB LIVE 配信)
9月13日(月) 新理事研修 於：オンライン (ZOOM)
9月16日(木) 9月例会 於：尾道国際ホテル
2022年度委員会構成図 メンバー配布
9月29日(水) 2022年度室合同委員会 於：グリーンヒルホテル尾道
10月7日(木) 全国大会 於：宇都宮市内
～10月10日(日)
10月11日(月) 第2回正副理事長予定者会議 於：事務局
上程締切 10月6日(水) 17:00まで
10月18日(月) 第2回理事予定者会議 於：尾道国際ホテル
11月10日(水) 第3回正副理事長予定者会議 於：事務局
11月18日(木) 第3回理事予定者会議 於：尾道国際ホテル
12月6日(月) 第12回理事会(新旧) 於：尾道国際ホテル
12月8日(水) 第4回正副理事長予定者会議 於：事務局
12月17日(金) 第4回理事予定者会議 於：尾道国際ホテル
12月28日(火) 第5回正副理事長予定者会議 於：事務局

守 破 離

～郷土の誇りを未来へ～

2022年度 理事長
今岡 正英

ふるさとを一度離れ帰郷した際の感動を忘れることはできません。当たり前だった日常の景色は、自然と文化が見事に融合した美しい景色へと変わっていました。近くにある宝というものは日常に溶け込んでしまえばその価値に気付くことはありません。一度離れることによって、またその宝に初めて触れる人々によって価値に気付かされていくものなのです。尾道で生まれ育った人は誰もふるさとを誇らしく思ったことはあるはずです。郷土愛という精神は必ず皆感情のどこかに持っています。私たち青年会議所の活動の源は郷土愛にあります。地元地域をもっと良くしたい、地元地域の人々をもっと元気づけたい、そうした思いからすべての思考は始まります。現在は幅広く様々な活動を行っていますが、他団体には無い独特の気質を「まち」「ひと」のためにもっと活用していくべきと考えます。青年会議所はまちに支えられ育てて頂いた団体でもあります。尾道を代表する青年経済人として、育てて頂いたまちに恩返しをしていくその使命を負っているということを自覚しておかなければいけません。地域を牽引していく立場となった今、未来のため次世代のために郷土愛溢れる活動をしてまいります。

守 破 離とは

まちやひとへの恩返しをしていくために必要な心掛けは「守 破 離」の精神にあると考えられています。守破離とは本来修行における過程を表したものです。

【守】 先人の教えを忠実に守り、基礎を確実に実行していく様

【破】 基礎を守りつつも応用や改善を重ね、自分の想いを加えていく様

【離】 自らの考えや想いで、新しいものを生み出していく様

しかし、私が考える守破離とは過程ではなくその一つ一つを大切にしていくというものです。青年会議所が実施していく事業には、守に重きを置くべきもの、破に重きを置くべきもの、離に重きを置くべきもの、すべて存在します。内容によってどの精神を大切にすべきなのか判断していく必要があります。常に変化し続けるこれからの時代、今まで通りの手法でいくのか、今までとは少し違う方法をとるのか、全く新しいスタイルを取り入れるのか、自分の信念を持って選択していくことが求められます。

尾道青年会議所は1957年に県内4番目の青年会議所として設立されました。本年度は創立65周年を迎えます。これまで長きに亘りまちのためひとのために活動されてきた

先輩諸氏がいたからこそ、そしてその魂^{こころ}を途切れることなく紡いできたからこそ65周年という節目を迎える事ができています。様々な歴史を作り上げてこられた先輩諸氏に敬意を表するとともに、今度は私たちが新たな歴史を築いていくその立役者にならなければいけません。新たな歴史の第一歩として、本年度はまちの人々に笑顔と感動を届ける記念事業を開催いたします。先の見えない不安定な状況にあっても、明るい笑顔と深い感動は人々を和ませ心を豊かにしてくれます。

市民が青年会議所に期待していること、それはまちづくりです。近年よく耳にする言葉があります。「JCって何をしているの？」この言葉を聞く度にまちへ貢献できているのか考えさせられます。ではどういう存在であるべきなのか。市民が求めているものを把握し応えるのがJC、困った時に助けるのがJC、体力・気力・知力を惜しみなく提供するのがJC、このように考えています。これまで先輩諸氏が作り上げてこられたまちづくり事業もまさにこうした活動だったのです。誰もが青年会議所の活動に賛同してくれるよう、市民の期待に応える事業を展開してまいります。

コロナ禍によって都市部から地方に関心が高まっている現在^{いま}、地方における未来志向の活動は今後益々注目されていくと考えられます。地方は都市部とは全く違う魅力に満ち溢れています。山や海に囲まれた自然豊かな街並み、人情味あふれる人々、何よりまちの一体感は最大の魅力です。尾道はまさにそのような地方であり、発信すべき素材は数多く存在します。まだ陽の目を見ていない場所でも輝きを放つ可能性は十分に秘められています。暗い話題が渦巻いている今だからこそ、尾道の持つ多様性を活かして、人々が集う活気あるまちにしていかなければいけません。地域の未来を創る、青年会議所はそのきっかけを生み出す役割を担っています。

本年度尾道青年会議所は11年ぶりに広島ブロック協議会のアカデミー事業を開催します。コロナ禍により中止せざるを得なかった昨年度の想いも込め、本年度は開催に向けて進めてまいります。入会年度の浅い会員にとって、広島ブロック協議会内での交流は極めて貴重な経験となります。井の中の蛙状態では、他LOMに在籍する才能豊かな人との出会いもありません、自分の持っている更なる可能性に気付くこともできません。青年会議所の魅力は人との出会いでもあります。地域間の結束をより強固なものにしていくために、尾道らしい特徴を活かしたアカデミー事業を構築してまいります。

尾道の未来を託すのは私たち青年世代ではなく、現在の子どもたちに他なりません。その子どもたちに対し私たちは今何ができるのか、将来を見据え考えていく必要があります。子どもたちが成長し大人になった時「小さい頃青年会議所の人たちからこんなことを学んだな」と思い出してほしい。何十年先にも記憶に残るような事業を展開したいと考えています。それが原動力となりまちに恩返しをしていくことに繋がればこれほど嬉しいことはありません。現在は少子高齢化により地方の子どもたちは益々貴重な存在となってきています。県外への流出は何としてでも避けなければいけません。尾道に戻りたい、尾道のために働きた

い、そう思える郷土愛作りの一端を担いたいと考えています。

近年深刻な問題となってきた会員減少、10年前と比べ約20名減少しています。会員拡大の活動は続けているのに入会者数は伸び悩んでいます。その根本的な原因の一つは主体性の低下です。誰かがやってくれるだろうという考えが心のどこかに存在していることです。もう一つは青年会議所の活動意義を語れていないことです。自信を持って語るができなければ伝えることもできません。どちらも取り組む姿勢が関係しています。ではどうすれば良いのか、それは当たり前のことですが青年会議所の活動に真摯に向き合うことです。気持ちを込めて取り組むことができれば、自ずと当事者意識も芽生え活動意義も語れるようになります。そして生き生きとし魅力的な人間へと変化していきます。結果としてそれが青年世代へと伝わり会員拡大へも繋がっていくことは間違いありません。

未来のために

現状だけを見るとしんどく辛いものばかりかもしれません。活動に消極的になってしまう時期があるかもしれません。しかし青年会議所で活動する価値というものは卒業した後に湧き上がってくるものです。卒業した後の姿を想像してみてください。やりきったからこそ二度と得ることのできない知識や経験を手にしていきます。何より一生の仲間ができていきます。青年会議所に所属できるのは生涯の中でも限られたわずかな期間だけです。未来の自分のため、未来の尾道のため、未来の社会のために、今できることに精一杯取り組んでまいりましょう。その取り組みこそが青年会議所の存在意義となり、未来のまちの創造へと繋がっていくのです。これまで長きに亘って紡いできた先輩諸氏の想い、そして皆さんの想いを結集しまちへの感謝を形にしていきたいと思います。

「想 い」

2022年度 65周年特別室
実行委員長 吉田 雄太

昨今明日を予測することすら困難な時代になっています。

だからこそ今一人一人が何をすべきかを考え、そのすべき事を全力で行い、今まで培ってきた先輩諸兄の功績への敬意を、歴史、伝統、文化を積み重ねて頂いたことに感謝を表し、より良いものにし、今後10年20年先にバトンをつなぐ責任があります。

我々は未来を見据えながら情熱を持ち、市民、まちのために急速に変化する時代に対応しなければなりません。

それには確固たる「想い」が必要である。

想いは何よりの原動力です。想いは目には見えないけどあらゆる物を育む根源です。信じた道を歩んで行くと傷つき悩むこともありますが、強い想いがあれば何度でも立ち上がりいかなる困難な道でも切り開くことができます。

まちのため、市民のため、仲間のためだからこそいつも以上の力を発揮することができ、自分の限界を打ち破り、さらなる自己成長を遂げることができます。

想いこそがこれから進むべき道を照らす光だと考えます。

今当たり前にあること全てが誰かの強い想いで出来たものです。

未来は自分の中にあります。想いで未来を創りましょう。

「意義を問う」

2022年度 地域創造室
副理事長 歌 一行

尾道に暮らす私たちが魅力について聞かれた場合、どれだけの魅力を熱く語れ、相手の心を魅了することが出来るだろうか。どこの地域にも当てはまるありふれた言葉を並べるだけで相手の心を突き動かすことが出来るだろうか…

尾道で生まれ小さいころから過ごしてきた私たちにとって、地元尾道は当たり前の日常であって、特別なものと感じていないのかもしれない。もしかしたら観光客やその他地域から移住してきた人の方が尾道の魅力を語れるかもしれない。ましてやコロナ禍の昨今、人がまちに出て集うこと、心通わせることに躊躇い、一体感が失われつつあると感じます。

だからこそ、原点に立ち返り尾道の魅力を感じたい。
尾道に暮らす一人一人から尾道に誇りをもち、地域を愛する魂を創出するムーヴメントを起こしたい。それこそが1957年の設立以来、65年に亘り先輩諸氏が紡いできた尾道青年会議所の意義だと考えます。

自然と共存するまち、人情味あふれる人々が共生するまち。
そのまちに郷土愛を持ち、もっとよくしたいと願い、尾道青年会議所がなくてはならない存在となるよう、「守 破 離」の精神のもと、意義を問い続けたい。

「熱意」

2022年度 人財育成室
副理事長 高橋 建太

近年、様々な影響により社会全体が大きな変革を求められています。そのような中、私たちは先人が築いた魅力溢れる尾道を受け継ぎ、未来に向かい発展させる責任があります。尾道青年会議所においても65年間、脈々と受け継がれてきた想いを尊重し、新たな仲間と共に次代へ継いでいく必要があると考えます。

未来の魅力溢れる尾道を創造するのは子どもたちです。私たちは青年経済人として子ども世代が多くの方を育む機会を提供することができます。尾道青年会議所活動を通じて子どもたちが更なる飛躍をするための一助となるよう、運動を展開してまいります。

そして、私たちは青年経済人であると同時に子供を持つ親世代でもあります。私たちの活動を通じて大きな背中を見せられる親にならなければなりません。私たちが自信と誇りを持ち、地域に根差した運動を展開し多くの世代、多くの人から真に必要とされる団体へ進化を遂げましょう。

尾道を未来に向かい発展させるため、また地域に必要とされる団体になるために同じ想いを持った仲間を増やすことが重要です。尾道青年会議所は今後を支える地域のリーダー育成や地域の未来創造のために欠かせない学び舎です。この学び舎を経験した仲間が増えれば増えるほど、尾道の魅力は増していきます。そのために一人でも多くの人に共感してもらい、熱意を持って活動する仲間を増やしましょう。

一人一人が青年会議所活動に熱意と自信と誇りを持ち自らが率先して行動し、自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨していきましょう。

「信 頼」

2022年度 専務理事

大西 貴明

本年度65周年を迎える尾道青年会議所はいかなる外部環境が変わろうと一步一步、今日までひとつづくり、まちづくりなどさまざまな活動をしてきました。

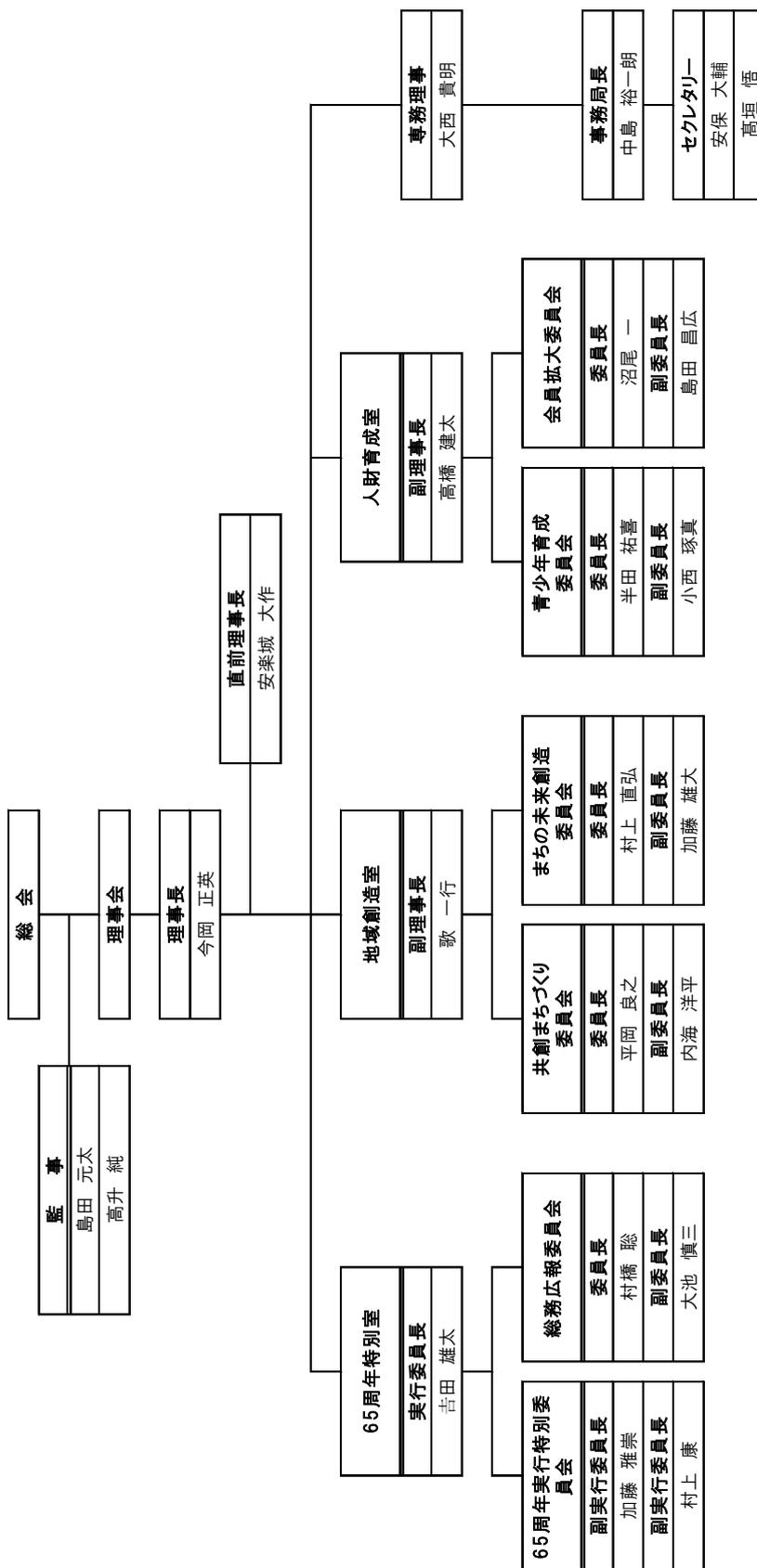
それは多くの先人達の軌跡でもありまた今後も我々はその歩みを止める事なくバトンを次代に引き継いでいく事も責務だと思っております。

世の中はたえず変化しその変化に対応する為には先入観にとらわれず失敗を恐れることなくチャレンジしていくしかありません。一人ひとりの力は微力でも皆が力を合わせれば無限大です。皆で語り合い、切磋琢磨し信頼関係を強固にしながら共に成長しあえる組織を創っていきましょう。

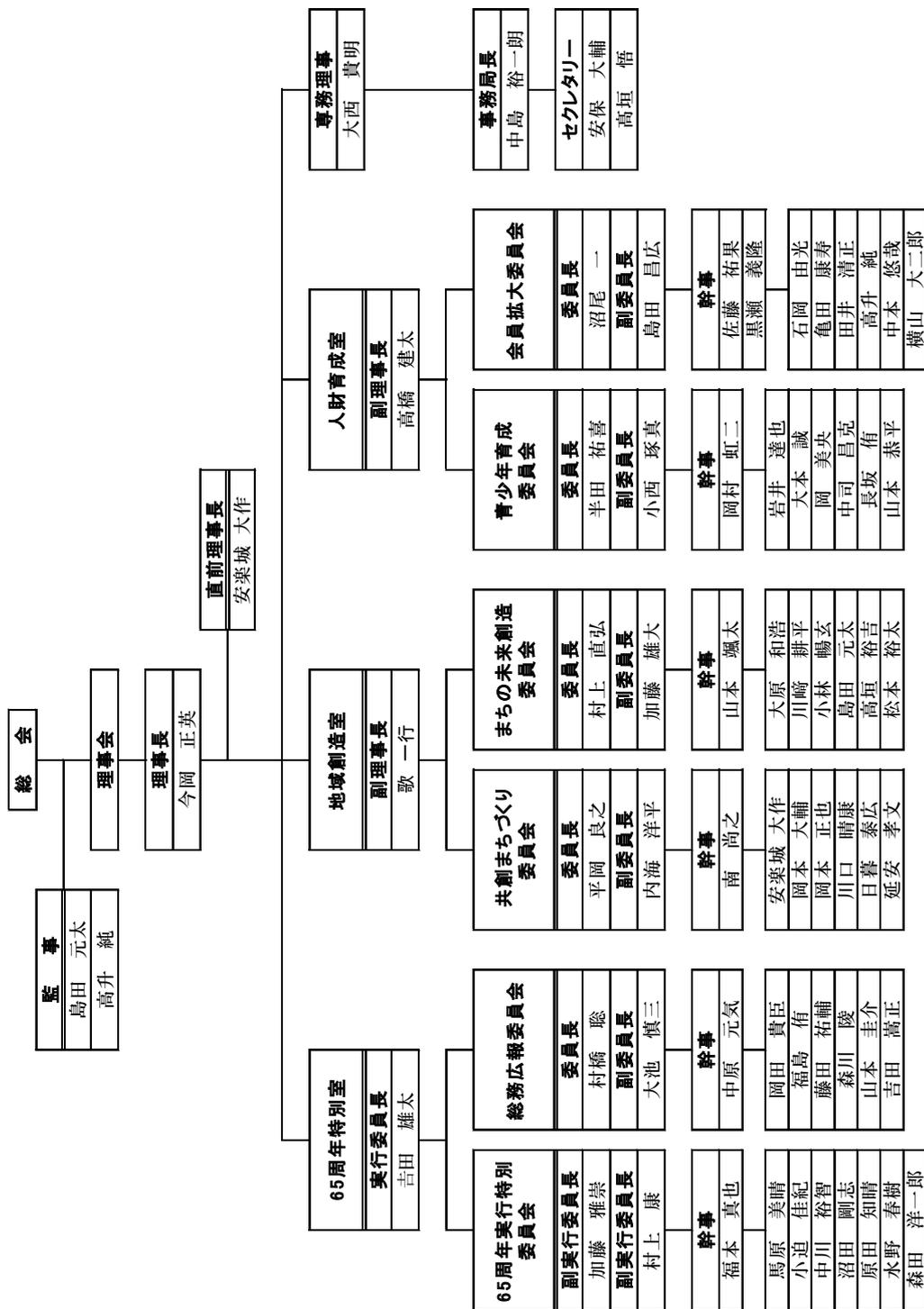
新たな時代を築くのは我々だという気概を持ち先頭をきって尾道を盛り上げまちの人と交流し情熱を伝播していきましょう。

まちのため、ひとのために。

2022年度 一般社団法人尾道青年会議所 理事会構成図(案)



2022年度 一般社団法人 尾道青年会議所 委員会構成図(案)



所管業務

【 65周年特別室 】

◆ 65周年実行特別委員会

創立65周年記念式典の企画・運営（例会行事）	5月
創立65周年記念事業の企画・運営	通年
新年例会	1月
クリスマス会	12月
会員拡大の実践	通年

◆ 総務広報委員会

例会・総会の設営及び運営	通年
全般的な庶務の遂行	通年
例会行事	7月
新理事研修	8月
卒業例会	12月
活動記録の整理・保存及び広報活動の実践	通年
会員拡大の実践	通年

【 地域創造室 】

◆ 共創まちづくり委員会

共創まちづくり事業の調査・研究・実践	通年
尾道の伝統文化の調査・研究・実践	通年
例会行事	2月
夏期講習	8月
会員拡大の実践	通年

◆ まちの未来創造委員会

広島ブロックアカデミーの企画・運営	6月
まちの未来創造事業の調査・研究・実践	通年
例会行事	3月
例会行事	9月
会員拡大の実践	通年

【 人財育成室 】

◆青少年育成委員会

青少年育成事業の調査・研究・実践	通年
家族会	4月
例会行事	6月
例会行事	10月
会員拡大の実践	通年

◆会員拡大委員会

会員拡大の調査・研究・実践	通年
例会行事	4月
例会行事	11月
新入会員ガイダンス	7月
仮入会員研修	9月
しまなみ3JCへの参画	通年